

議会報告会実施報告書

開催日時	平成25年11月10日(日) 14時～15時30分
開催会場	下恵土公民館
班長	澤野 伸
司会者	川合 敏己
報告者	酒井 正司 富田 牧子 澤野 伸
記録者	出口 忠雄
参加者数	14人
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度決算審査報告および質疑 ・市内公共交通についての説明および意見交換
主な意見 提言等	<p>1部「平成24年度決算審査報告」</p> <p>質問：基本的な事を伺います、行政と予算について。予算の組み換えはあったのかお聞きします。</p> <p>回答：組み換えはありません、また過去にもありません。</p> <p>質問：多治見市でも議会報告会はあるが、可児市では議会報告会のテーマについて、どのようにして今回のテーマになったのか。</p> <p>回答：予算案を認めた以上、その執行結果である決算のチェックは非常に重要であるため、他にも報告内容の候補はあったが今回の決算審査報告のテーマになった。</p> <p>意見：今回の報告会に「提言」の中に予算に対して未執行とならないようにと、あるが予算から執行まで時間があり、執行する必要のない事業もでてくることも考えられるため、思い切って中断するというのも必要ではないか。</p> <p>補助金の使われ方や公共下水の接続率の低さをほっておいて決算審査が本当にできているのか疑問である。</p> <p>質問：予算に対する効果について検証はどうしているのか、また失敗した事業への対応をどのようにしているのか教えてほしい。議会としての対応は。</p> <p>回答：効果が薄い事業というのはあったと思うが、失敗した事業というのはなかったと思う。気づいたところがあれば教えて頂きたい。また短期間で効果が現れない事業もあるが、すぐ廃止ではなく見直しが行われたりしているので、推移を見守る必要もある。</p> <p>質問：平成24年度決算について、提言に予算の精度を高めるとあるが、予算が余ることがいいのか悪いのか、精度が高いのか低いのかどうなのでしょう。</p>

回答：決算は結果であるが、期待した結果ではないので、説明したような提言が出てきている。

質問：水道料金が高いと言われているが料金見直しの議論があったのか。

回答：可児市を含め11市町村が岐阜県から水を買っているが、市の水道料金の多くをこの購入費用が占めている。近隣市町と協力してこの問題に取り組んできている。今後この購入費用が減額となる可能性があるが、水道管路などの劣化等に対応しなければならないことや、一般会計からの補てんの見直しへの対応のため、料金改定は難しい現状である。

2部「市内公共交通についての説明」およびその他

意見：公共交通に「一般会計、特別会計」予算はどちらからか補助金がでているが市民サービスであるので私は良いと思う。

質問：新可児駅の今後について伺う。市長から話がでていますが議会としての見解をお聞かせください。

回答：新可児駅の現状は利用者が少なくあまりに寂しいと思う。過去にも色々な意見や案がありました。現在市長から子育てに関する施設にしたいとの提案に対しては議会全体としての合意はありません。駅利用者も減っている中で今後のことも見据えて考えるべきだと思う。方向性として幅広く見て子育てだけでは十分な効果が得られないと考えるので、保健センターや総合案内、現状では厳しいが民間活力の導入も含め今後議論していきたいと思う。

回答：新可児駅周辺の活性化については当初の計画と変わってきているが駅東西を結ぶ自由通路の建設が概ね決定し、下恵土と広見の連携がとれると考える。また可児川を活かしたまちづくりも検討すべき課題と考えている。駅周辺にはまだ鹵検定跡地などの市有地もあり、駅から3～5Km圏内でどの様に施設や土地を活かしていくかが課題であると考えている。

意見：可児市は良いところだと思うが活性度が不足していると感じる。自治会の活動が上から下へというものばかりであり、悪いことではないが下から盛り上がるものがないといけない。それがまちづくりにつながると思う。議会でもまちづくりについて議論していただきたい。可児市をどのようなまちにするのかというビジョンを議論していただきたい。

質問：可児市には素晴らしい施設が至る所にあるが、全国各地と同様に施設の維持管理に多額の費用が必要となるが、今後の厳しい財政の見通しを考え、施設の廃止もやむを得ないことになると考えるが、可児市議会ではそのような検討をしているのか。

回答：いかにして若い世代に選んでもらえるかという地域づくりが必要と考える。ファシリティマネジメントについて調査研究し、公共施設の在り方について検討している。行政側での公共施設の状況調査結果が間もなく示される予定である

ので、それを議会でも調査検討し、行政側に提案できるようにしていきたい。
回答：高齢化が進んでいる団地では空き家へのリフォーム助成をするなどして若い世代を呼び込む施策が始まっている。また、教育施設や公民館などが将来にわたっていかに有効活用していけるのか、議員はそのことを考え行動しているのでご理解いただきたい。

質問：議員は将来を見て考えていることはわかる。以前の議会報告会でも聞いたが、アーラは素晴らしい施設であるけれども、ハードに対する事前のビジョンがみえていないと感じる。もっと有効に活用法を考えて欲しい。また議会報告会は良いと思うが、議会の総意を発表するのではなく、座談会のようになっていくとか、積極的に市民との接点をもっといただくようにしていただく方がいいのではないかと思うし、議会は言論の府であるので市民を交えて討論をしていくのが普通の在り方だと思う。報告であればテレビや紙媒体を使っていただければいいのではないか。資料については準備が大変だと思うが、事前に渡していただくと質問がしやすい。決算の内容は専門的なもので直ぐには理解できない部分もある。

回答：皆さんから気軽に意見がいただけるような方法を議会として検討していく。

意見：決算書について、項目ごとの合計金額や割合だけではわからない。現状がどうなっていて、ある目標のためにどれだけの予算が使われたかというのを出示していただけると理解しやすく、意見が言いやすい。

意見：今後の高齢者は医療機関や介護施設での負担が増えたり、年金が減ったりすることで、維持費のかかる車を所有できなくなるということを予測して、公共交通をなるべく活用できる社会づくりや将来のイメージを示していくことを議会で行っていただきたい。そうすることで、市民の方も理解しやすくなり、意識づけになると思う。

平成 25 年 11 月 22 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 下恵土会場 班長 澤野 伸

